

# 岡山市 防災 マニュアル

防災

マスクや  
消毒液の  
持参



手洗いや  
咳エチケット  
を守って

## くらしの便利帳版

いざというときのために  
知っておきたい防災情報

新型コロナウイルス感染症が  
収束しない状況でも  
災害の危険が迫ったら！

# 迷わず避難

## 住んでいる場所をハザードマップで確認しましょう！

地域の特性や避難所情報、土砂災害警戒区域の情報を  
事前に確認しましょう。



## 事前に備えておきましょう

▶ 詳しくは14ページへ

非常持出袋に加え、マスク、除菌シート、  
体温計などを持って避難しましょう。



## 避難する場所は「避難所」だけではありません

- 災害の危険性のない親戚・友人・知人宅
- 自宅の上階への垂直避難も事前にご検討ください。

## 「避難所」へ避難したら…

▶ 詳しくは15ページへ

- 3密(密閉・密集・密接)を避けましょう！
- 小まめな手洗い！ ● 咳エチケット！



## わが家の防災メモ

いざという時に慌てないように、あらかじめ記入しておきましょう。

避難所

家族が離ればなれに  
なった時の集合場所

家族の  
連絡先・データ

氏名	携帯電話	会社・学校	会社・学校の電話

# 緊急時連絡先



## 災害警戒本部・災害対策本部

大雨・洪水警報などの気象情報の発表や震度4以上の揺れが観測された場合、市役所と各区役所に、災害警戒本部または災害対策本部が設置されます。

本庁本部	☎086-803-1600
北区本部	☎086-803-1850
中区本部	☎086-901-1643
東区本部	☎086-944-5100
南区本部	☎086-902-3500

### 下水道や河川に関する災害の場合

下水道河川局の浸水・災害対策本部

☎086-803-1601

## 警報・注意報・天気予報は

 **177 番**

## 事件・事故の通報は

**110 番**

ファクスによる通報は…

 **086-221-0110**

## 消防車・救急車を呼ぶときは

 **119 番**

## 火災等の発生場所や状況を知りたいときは

### ◆消防出動情報

パソコンやスマートフォンで消防車の出動状況がWEBで確認できます。



 <http://mail119.city.okayama.jp/fire/saigai/saigaipc.html>

消防車出動 岡山

検索

### ◆火災テレホンガイド ☎086-226-0119

※自動音声による案内です。

## 救急病院の問い合わせ

岡山市内救急病院案内 ☎086-231-0119

## 聴覚障害者、音声・言語機能障害者からの通報手段として

### ファクス・Netによる **119** 通報

#### ファクスによる通報

局番なしの“119”です。ファクス送信用の用紙には、あらかじめ氏名・住所・電話番号を記入し、ファクスのそばに置いておきましょう。

#### Net 119 通報

聴覚・音声・言語機能障害がある人がスマートフォンなどで全国どこからでも「音声によらない」緊急通報ができるシステムです。

※利用には事前登録が必要です。



防災

## 消防署の名称と管轄区域

名称	管轄区域	所在地／電話番号
北消防署	北区の区域 (西消防署の管轄は除く)	北区鹿田町二丁目4-1 ☎086-226-1119
西消防署	●北区のうち、京山・石井・中山・高松・吉備・足守の各中学校区および御南中学校区のうちの笹ヶ瀬川以西の区域 ●吉備中央町の区域	北区野殿西町427-1 ☎086-256-1119
中消防署	中区の区域	中区今在家地先 ☎086-275-1119
東消防署	東区の区域	東区西大寺南一丁目2-4 ☎086-942-9119
南消防署	南区の区域	南区浦安南町495-88 ☎086-262-0119

※各種届け出などについては、管轄の消防署へお願いします。  
 ※災害発生時には、従来どおり災害発生場所に一番近い署などの隊が対応します。  
 ※火災によるり災証明書、り災届出証明書および救急搬送証明書は、最寄りの消防署または出張所で申請できます。(ただし、緊急出動している場合を除く。)

## 岡山市内を管轄する警察署

名称	所在地	電話番号
岡山中央警察署	中区浜一丁目19-39	☎086-270-0110
岡山西警察署	北区野殿東町2-10	☎086-254-0110
岡山南警察署	南区泉田五丁目4-6	☎086-245-0110
岡山北警察署	北区御津草生2090	☎086-724-0110
岡山東警察署	東区西大寺中野501-9	☎086-943-4110
赤磐警察署	東区瀬戸町瀬戸166	☎086-952-0110

## その他の連絡先

名称	所在地	電話番号
防火相談	消防局予防課	☎086-234-1199
Net119 利用申し込み	消防局情報指令課	☎086-253-9978 FAX 086-253-9984
都市ガス	岡山ガス※	☎086-272-3111
電気に かかる相談	中国電力 岡山営業所	☎0120-411-669
	中国電力 岡山東営業所	☎0120-415-322
	中国電力 倉敷営業所	☎0120-412-717
	中国電力 津山営業所	☎0120-410-254

※プロパンガスは日頃取引のある各取扱店へ

## 水道の断水・漏水など

水道局電話受付センター ☎086-234-5959

## 下水道・農業集落排水の維持・補修

下水道河川局下水道保全課 ☎086-803-1490

## 用水路・ため池、農道、林道の維持補修、農作物の被害、漁業被害、山林・農地の被害

各区役所農林水産振興課／北区土木農林分室  
各支所産業建設課

北区	☎086-803-1661・1662
	☎086-286-9070 (土木農林分室)
	☎086-724-1114 (御津支所)
	☎086-722-1113 (建部支所)
中区	☎086-901-1623
東区	☎086-944-5043
	☎086-952-1114 (瀬戸支所)
南区	☎086-902-3521
	☎086-363-5203 (灘崎支所)

## 道路・河川・港湾などの補修・修繕

各区役所地域整備課／北区土木農林分室  
各支所産業建設課

北区	☎086-803-1687・1688
	☎086-286-9070 (土木農林分室)
	☎086-724-1114 (御津支所)
	☎086-722-1113 (建部支所)
中区	☎086-901-1632・1634
東区	☎086-944-5049・5047
	☎086-952-1114 (瀬戸支所)
南区	☎086-902-3528・3529
	☎086-363-5203 (灘崎支所)

緊急時には  
早めの避難を!!

# 避難について

住民が災害発生の危険性の高まりに応じてとるべき行動を、直感的に理解できるよう、防災情報を5段階の警戒レベルにより提供しています。

## 🕒 避難のタイミング 警戒レベル4までに必ず避難!

警戒レベル	行動を促す情報	住民がとるべき行動
危険度 高 5 4 3 2 1 低	<b>5 緊急安全確保</b>	<b>命の危険 直ちに安全確保!</b> すでに災害が発生または切迫していて、安全な避難ができず命の危険がある状況です。 <b>いのちを守る最善の行動</b> をとってください。 ※市が災害の状況を確実に把握できるものではないため、必ず発令されるものではありません。
	<b>4 避難指示</b>	<b>危険な場所から全員避難</b> してください。 避難所に各自必要なもの(水・食料など)をできるだけ持参してください。 ※令和3年5月から「避難勧告」は廃止されました。
	<b>3 高齢者等避難</b>	<b>危険な場所から高齢者や避難に時間がかかる人は、避難を開始</b> してください。その他の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり、危険を感じたら自発的に避難してください。
	<b>2 大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁発表)</b>	ハザードマップなどで自宅の災害リスク、避難場所や避難経路、避難のタイミングなどを再確認し、避難に備え <b>自らの避難行動を確認</b> してください。
	<b>1 早期注意情報(気象庁発表)</b>	最新の気象情報に注意し、災害への心構えを高めてください。



防災

## 📍 避難時のころがけ、心得

- 各人が**自らの判断**で避難行動をとることが原則です。
- 避難した結果、何も起きなければ「幸運だった」という**心構えが重要**です。
- 避難指示などの対象とする区域はあくまでも目安です。その区域外でも、**危険だと感じたら速やかに避難**しましょう。
- 避難とは「難」を「避」けることです。危険な場所にいる人は避難することが原則ですが、安全な場所にいる人まで避難場所に行く必要はありません。



### 正確な情報収集と自主的避難を

ラジオ・テレビで最新の気象・災害・避難情報に注意し、危険を感じたら自主的に避難しましょう。

### 安全な避難路の確認を

避難所までの経路が安全に通行できるかを確認し、家には避難先と安否確認を記したメモを残しておきましょう。

### 火気の始末・ガスの元栓・戸締りを忘れずに!

避難する前に、ブレーカーを落とし、ガスの元栓を締めましょう。また、戸締りも忘れないようにしましょう。

### お年寄りなどの避難に協力

お年寄りや子ども、病気の人は、早めの避難が必要です。近所のお年寄りなどの避難に協力しましょう。

### 危険な場所は避けて

崖や川、地下施設など、危険な場所には近づかないようにしましょう。浸水時の避難ではできるだけ高い道路を選び、溝や水路に十分注意しましょう。

### 避難の呼び掛けには速やかに

危険が迫ったときは、役所や消防団から避難の呼び掛けをすることがあります。そのときは、速やかに避難しましょう。

### 安全で動きやすい格好を

避難の際は持ち物を最少限にし、安全で身軽に動けることを優先しましょう。長靴は水が入ると歩きにくいので履き慣れた底の固い靴を履いて避難しましょう。

### 避難は2人以上で

なるべく単独行動を避け、隣近所の人たちに声を掛け合って集団で避難しましょう。何か起きた場合に、お互い助け合い、安否確認ができます。

### 車での避難は控える(避難は原則徒歩で)

車での避難は緊急車両の通行の妨げになります。特別な場合を除き徒歩で避難しましょう。車を離れて避難するときは、鍵はつけたままドアはロックせず避難しましょう。

### 万が一、逃げ遅れたときには

洪水などで浸水が始まった場合、歩ける水深は膝くらいまでが目安です。逃げ遅れた場合は、無理せず高いところで救助を待ちましょう。

# 災害ごとの避難の流れ

台風や大雨による水害や土砂災害、今後30年のうち70～80%程度の確率で起こるといわれている南海トラフ大地震など、もしもの災害に備えて避難方法や避難の流れを把握しておくことも重要です。

防災

## 地震・津波のとき

### 地震発生

発生直後

#### 身の安全を守る

- ▶ 姿勢を低くし、頭を守る。机の下などにもぐる（倒れてくる家屋や落下物に注意）
- ▶ 素早く火の始末をする（ガスの元栓を閉める。無理はしない）
- ▶ ドアや窓を開けて、逃げ道を確認する



#### 情報を収集する

テレビや携帯電話、ラジオで地震速報や津波警報などの情報を収集。余震に注意しながら速やかに避難の準備を。

### 津波の恐れ

あり

#### 高台や浸水想定区域外へ速やかに避難

津波は高い場所へ避難することが鉄則。事前に浸水地域や避難場所の確認を。

原則  
徒歩で移動



#### ビルの上階へ

近くの丈夫な建物の上階へ垂直避難するのも有効。地震で建物が崩れている場合もあるので、入る前に安全確認を。



3階以上  
に避難



なし

#### 余震に注意して公園や避難場所へ

建物の倒壊の恐れがある場合、市街地で大規模な火災が発生した場合は、避難場所へ。

こんなときは？

#### ▶ 市街地にいる場合

窓ガラスや看板、ブロック塀などに注意。地下にいる場合、揺れが落ち着いたら速やかに地上へ避難。

#### ▶ 運転中の場合

道路左側へ停車。車を離れるときはドアロックせずキーをつけたままで。



## 台風・大雨のとき

### 台風接近・大雨の予報

#### 情報を収集する

出される情報

行動を促す情報

大雨注意報  
氾濫注意情報

テレビや携帯電話などで気象情報や避難情報を小まめに収集し、災害発生の危険性が高まる前に、安全な場所へ早めに避難を！

大雨警報  
氾濫警戒情報

高齢者等避難

最大級の警戒を！  
土砂災害警戒情報  
氾濫危険情報

ただちに避難  
避難指示

大雨特別警報  
氾濫発生情報

緊急安全確保

#### 立ち退き避難

浸水想定区域や土砂災害警戒区域外にある避難場所へ速やかに避難をしましょう。



避難指示などが発令されていない場合でも、地域によっては危険が迫っている場合があります。発令を待たずとも、自主的な避難を心掛けてください。

#### 立ち退き避難以外も避難です！

#### 屋内安全確保（垂直避難など）

土砂災害や水害の恐れがある場合、立ち退き避難が基本ですが、避難場所に行くのが危険な場合は、2階以上の山側から離れたところなど少しでも安全な場所に避難しましょう。



例えばこんなとき

- ▶ 夜間で視界が悪いとき
- ▶ 自宅周辺がすでに浸水しているとき
- ▶ 豪雨で屋外移動するとさらに危険なとき など

屋外の状況や時間帯で判断し、適切な行動を！



### 南海トラフの災害リスク

最大震度  
6強

	最大津波高		
中区 (江並付近)	東区 (水門町付近)	南区 (小串付近)	
T.P 1.8m	T.P 2.5m	T.P 2.6m	

※T.Pとは東京湾平均水面(海拔0m)

# 情報について

災害から身を守るには、何より情報収集が重要です。気象庁が段階的に発表する注意報や警報、各自治体が発信する地域の避難情報などを小まめに収集し、安全の確保に努めましょう。

災害時には「情報」が大切です！



防災

最新の防災情報が手に入る

## 情報の取得方法

### テレビ

データ放送で「おかやま防災ポータル」の情報を見ることができます。気象情報などの最新情報は、リモコンのdボタンを押してデータ放送を確認しましょう。岡山市から発信している「避難指示」や「避難所の情報」などをテレビでも見ることができます。

#### 「おかやま防災ポータル」の情報

NHK総合岡山1  
[防災・生活情報]



**利用方法** NHK総合にチャンネルを合わせ、デジタルテレビのリモコン「dボタン」を押してください。

### ラジオ

停電時やインターネットがつながりにくい場合、最も情報を得やすいのがラジオです。

### 緊急速報メール

#### (エリアメール)

対応する携帯電話やスマートフォンへ、特定エリアごとに直接、緊急地震速報や災害・避難情報などを一斉配信するサービスです。

## スマートフォン・インターネットなど

### 岡山市からの情報発信

#### ▶ 岡山市メール配信サービス(岡山市防災メール)

避難情報・気象情報などを配信しています。日本語のほか12カ国語に対応しています。

- 登録方法**
- ①二次元コードから空メール送信
  - ②返信された登録用メールの案内に従って配信希望の項目を返信。



(日本語版)

#### ▶ 岡山市WEB版ハザードマップ

位置情報機能を活用したハザードマップ(洪水・土砂・高潮・津波)を表示しています。現在地周辺のハザード情報や避難所の情報(開設状況・混雑状況)、その避難所に至るルートなどを確認することができます。



#### ▶ 公式LINE



#### ▶ Twitter



#### ▶ Facebook

桃太郎のまち



### 岡山県からの情報発信

#### ▶ おかやま防災情報メール in@bousai.pref.okayama.jp

警報や河川水位・雨量などをリアルタイムで配信しています。

- 登録方法**
- ①QRコードから空メールを送信する。※QRコードは懒デンソーウェブの登録商標です。
  - ②返信された登録用メールの案内に従って配信希望項目を返信する。



### 国からの情報発信

気象庁



<https://www.jma.go.jp/>

首相官邸



<https://www.kantei.go.jp/>

内閣府



<https://www.cao.go.jp/>

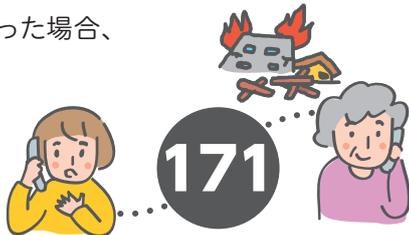
## 災害用伝言ダイヤル「171」



大災害に際し、被災地との通話が困難になった場合、災害用伝言ダイヤルが提供されています。

# 171

をダイヤルした後ガイダンスに従ってください。



# 安否確認方法

災害時、最も心配になるのが家族の安否です。災害直後は、電話などがつながりにくくなります。事前に家族で安否確認方法を確認し、いざ災害が起きたときでも連絡が取れるよう、話し合いをしておきましょう。

防災

## ☎ 災害用伝言ダイヤル「171」を使う

地震などの災害の発生により、被災地に対する電話がつながりにくい状況になった場合に利用できます。

伝言を残す(登録)

伝言を聞く(再生)

「171」にダイヤルする

「1」を押す

自宅や携帯電話などの電話番号を入力する

必ず市外局番から  
(xxx)xxx-xxxx

「1」を押す  
(プッシュ式の場合)

「録音」する  
(30秒以内)

「9」を押す  
(プッシュ式の場合)

「2」を押す

伝言を聞きたい電話番号を入力する

必ず市外局番から  
(xxx)xxx-xxxx

「1」を押す  
(プッシュ式の場合)

「再生」が始まる



## ☎ 携帯電話・スマートフォンの「災害用伝言板」を利用する

地震などの災害が発生した場合に、携帯電話各社のポータルサイト上に「災害用伝言板」が開設されます。

伝言を残す(登録)

伝言を読む(確認)

公式メニューや専用アプリの「災害用伝言板」にアクセス

「登録」を選ぶ

伝えたい項目を選ぶ  
(伝えたいことを書き込むこともできます)

その画面で「登録」を選ぶ

伝言の登録が完了

「確認」を選ぶ

安否確認したい相手の携帯電話番号を入力する  
(xxx)xxx-xxxx

その画面で「検索」を選ぶ

伝言の検索結果が表示

👉 家族で体験してみよう!

体験利用日

●毎月1日・15日  
●防災とボランティア週間(1月15日~21日)

●年始 1月1日~3日  
●防災週間(8月30日~9月5日)

ソーシャルメディアを組み合わせる

東日本大震災では、LINE(ライン)やFacebook(フェイスブック)、Twitter(ツイッター)などのSNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)が安否確認に役立ちました。普段から使い慣れておくことで、いざというときの安否確認につながる可能性が高まります。



# 非常持出品と家庭内備蓄

いのちを守る  
もしもの備え



## 📦 非常持出品の例

☑️ 日用品

懐中電灯、電池、携帯ラジオ、下着類、ビニール袋、体温計、ティッシュ、洗面用具など。

☑️ 非常食・水

缶詰やクラッカーなど、火を通さずに食べられるもの。水はペットボトル入りが便利。

☑️ 衛生用品

マスク、除菌シート、生理用品、汚物用ビニール袋など。

☑️ 救急医薬品

傷薬、ばんそうこう、解熱剤、かぜ薬、常備薬、お薬手帳(写し)など。

☑️ 貴重品

多少の現金、健康保険証のコピーなど。公衆電話を利用するための硬貨も。

☑️ その他

ヘルメット、軍手、ライター、ナイフ、雨かっぱ、カイロなど。

## 📦 家庭内備蓄の例

☑️ 食料品

調理不要、簡易な調理ができるもの。缶詰、ドライフーズ、菓子類、レトルト食品など。

☑️ 燃料

卓上コンロや固形燃料、予備のガスボンベなど。

☑️ 工具

ロープ、パール、はさみ、のこぎりなど。

☑️ 水

飲料水は大人1人当たり1日3リットルが目安。水の配給を受けるためのポリ容器など。

☑️ その他

簡易トイレ、毛布、寝袋、ラップ、食器類、シート、筆記用具、マスク、トイレトーパーなど。

こんな用意もしておきましょう

▶ 乳幼児のいる家庭

粉ミルク、ほ乳びん、離乳食、スプーン、おむつ、清浄綿、バスタオルまたはベビー毛布、ガーゼ、おんぶひもなど

▶ 妊婦のいる家庭

清浄綿、ガーゼ、骨盤ベルト、産褥ショーツ、洗浄器および新生児用品、かかりつけ医の診察券、親子手帳など

▶ 配慮が必要な人のいる家庭

着替え、おむつ、ティッシュ、障害者手帳、補助具の予備、常備薬、予備のメガネ、緊急時の連絡先表など

▶ ペットのいる家庭

ケージやリード、ペット用非常食、ペット用トイレシート、タグなど

# 共助 ～自主防災組織について～

## 自主防災組織とは？

自主防災組織は、地域住民が共に協力し避難誘導などの防災活動を行う組織です。日ごろは、防災知識の普及啓発や防災訓練、地域の防災安全点検の実施や防災資機材の備蓄などの活動に取り組み、災害時に備えます。いざ災害が起こったときには、住民が力を合わせて、避難誘導や避難の声かけ、応急救護、初期消火活動、さらには避難所の運営活動などを行います。



## なぜ自主防災組織は必要？

阪神・淡路大震災で倒壊した家屋に閉じ込められた人たちの多くが近所の人によって助けられました。交通網の寸断、通信手段の混乱、同時多発の火災などで、自治体や消防、警察などは同時に全ての現場に向かうことができませんでした。このため救出活動を担ったのは、地域の住民の皆さんだったのです。

こうした教訓から、地域住民が連携して地域の被害を最小限におさえるため、全国的に自主防災組織の設立に向けた動きが活発になりました。

岡山市でも自主防災組織の結成と活動を支援するため、助成制度を設けるとともに、災害時の活動中の事故に対する保険に加入しています。あなた自身とあなたのまちを守るために、自主防災活動へ積極的に参加して「災害に強いまち岡山」をつくりましょう。



# 避難所生活について

## 避難所とは？

避難所は、「自宅が被害を受け居住の場を失った」「災害によって被害を受ける恐れがある」など、避難を必要とする人を受け入れる施設です。

避難所となる体育館などは、住居としての機能が不十分なため、生活環境の確保や健康への配慮など、普段の生活とは異なるさまざまな課題への対処が必要になります。



## 避難所運営で知っておいてほしいこと

### 避難者はお客様ではありません

避難所は被災者を中心に運営します。みんなで協力し合い、1日も早く以前の生活に戻ることを目指しましょう。行政は避難所運営の支援を行います。



### 避難者の中には配慮が必要な人がいます

高齢者・障害のある人・難病患者・傷病者などの体調が悪くならないように、スペースの確保や避難者全員で見守る体制づくりが重要です。



### 女性や子どもの視点から避難所を考えましょう

女性や子どもに配慮することで、多くの人々が安心して過ごすことができる環境が維持できます。



### 健康維持は衛生への配慮から

ライフラインの途絶や集団生活といった条件の避難所では、感染症、食中毒などのリスクが高まります。このため、トイレの衛生対策をはじめ、うがい、手洗いの励行など、発災直後から衛生管理に徹底して取り組む必要があります。

### 避難者は避難所の外にもいます

避難者は避難所にいる人だけではありません。車中・テント生活者など、避難所以外の場所に滞在する人にも支援が必要です。



### 3密(密閉・密集・密接)をさげましょう

定期的な換気を行い、多数の人が避難している場合は、避難者同士の距離を保ち、マスクを着用しましょう。

